



当協会の観光教育に関する取り組み

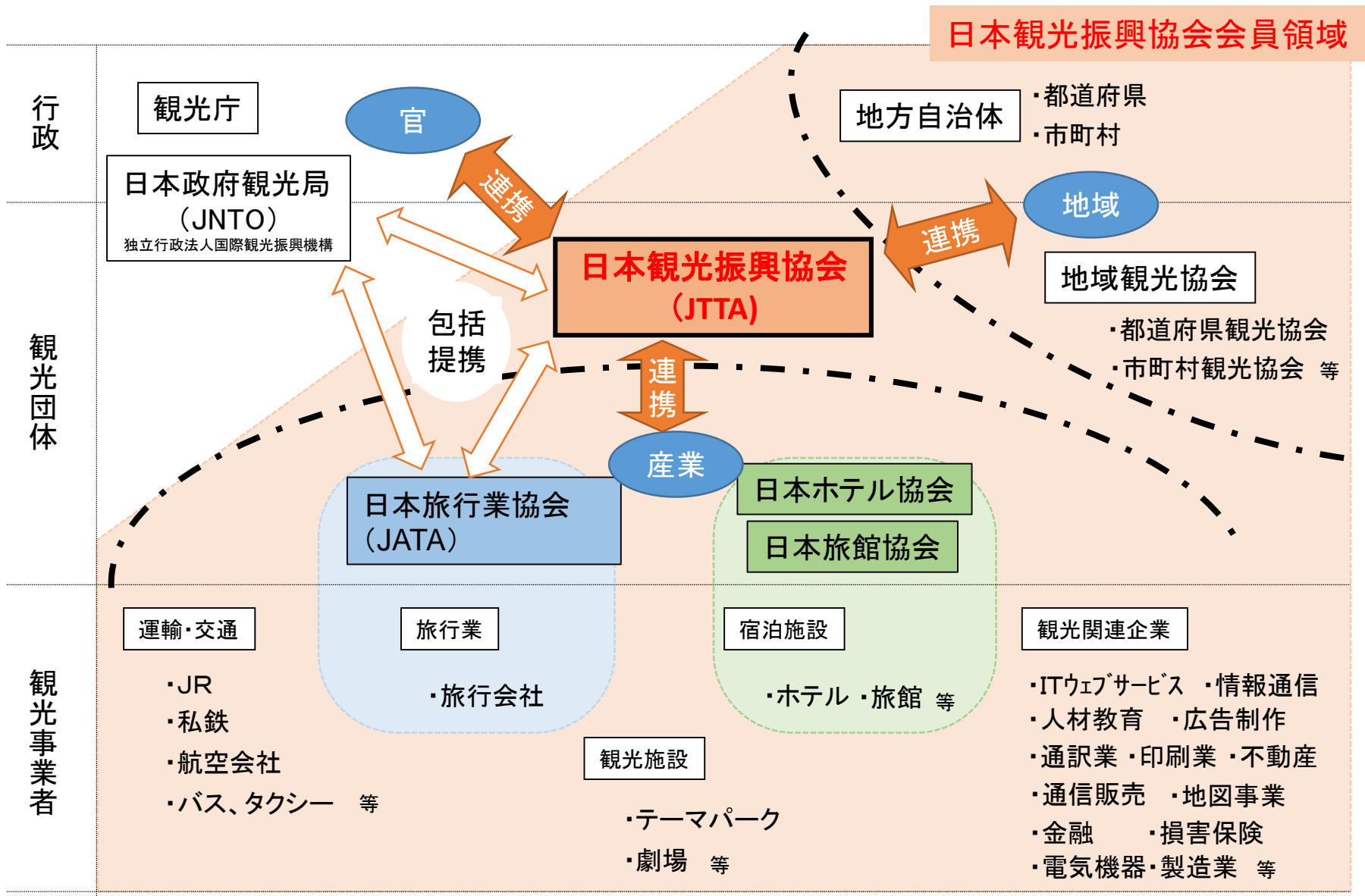
2020年 10月2日



公益社団法人 日本観光振興協会
JAPAN TRAVEL AND TOURISM ASSOCIATION

常務理事 中村 晃

協会と観光関係組織・団体との関係図



1. 観光教育副教材の作成

玉川大学 寺本先生、東洋大学 森下先生、JTB総合研究所 山崎部長、日本修学旅行協会 仲條部長を委員とする観光教育アドバイザリー会議を立ち上げて、小学校高学年から中学生を対象とし、将来的な観光事業に携わる人材の育成と、観光への理解促進を目指した観光教育の副教材を2018年度1.5万部作成、配布。2019年度5千部増刷。

2. 出前授業の実施

副教材を用いて地域の中での観光教育への活用とモデル事業の実施を図る。その一環として2019年3月に浅草中学校、2019年9月には秩父吉田小学校にて出前授業を実施。



観光教育副教材



秩父吉田小学校 出前授業の様子



秩父吉田小学校 意見交換の様子

① モデル授業の実施

観光教育に取り組む意向のある地域において、出前授業を実施。

② 副教材の改訂と手引書の発行

平成30年度に作成した初中等観光教育副教材を基にデータの更新を行い、SDGsやデジタル社会といった昨今のトレンドも加えた改訂版を発行。また、その手引書も作成。

③ 観光教育検討会の開催

引き続き、教育関係者・観光関係者からなる観光教育検討会を開催し、モデル授業の実施計画や実施結果、観光教育を取り巻く現況を情報共有、意見交換することで、観光教育を推進。

④ 地方での拡大

日本観光振興協会の地方支部を活用し、さらなる観光教育の普及の為にセミナー等を開催することを検討。